

高温期の日持ち性向上、品質保持

夏場における花きの安定供給技術



イメージ

夏期の生産コスト
2割減や日持ち性
2倍、
夏の高温期も彩り
豊かな緑化を実現

夏は花壇の植栽を美しく維持することが非常に難しい季節ですが、ビンカやペンタスなど夏に栽培できる品目やその植栽技術を「**夏花による緑化マニュアル**」にまとめました。現在、都立公園を中心に**都内50か所以上の植栽に活用**されており、今後、夏の彩りが増えていきます。

また、暑さに負けない**日持ち性に優れたダリア新品種**や、キクやカーネーション等の様々な**切り花の収穫後の低温管理技術**を開発しました。良質な花きの安定供給と国内消費拡大の推進により、国産花きのシェア拡大に貢献します。



夏の花壇は暑さや乾燥で株枯れが多発



彩り豊かな日比谷公園の装飾

研究代表機関

農研機構

プロジェクト名

国産花きの国際競争力強化のための技術開発

研究期間

平成27年度
～令和元年度

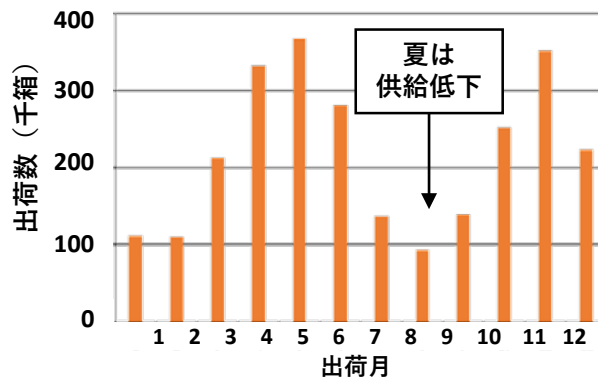
〔 共同研究機関：秋田県、千葉県、東京都、愛知県、奈良県、香川大学、日本大学、トヨタネ（株） 等 〕

研究背景

国内の花きは生産額、生産者数ともに減少し、輸入が増加していることから、国際競争力強化のための技術開発が求められました。

また、特に近年夏は、気温が著しく高くなり、植物の栽培や切り花の日持ちに影響を与えており、例えば苗ものの7～9月の出荷数は、5月や11月と比較して著しく減少しています。

そこで、夏の高温期でも安定供給が可能な、新品種、低コスト安定生産技術、品質保持期間延長技術の開発が求められていました。



月別苗もの出荷数 東京都卸売市場統計（2019）

主要な成果

- ❶ 夏に栽培できる品目、品種の植栽技術をまとめた「夏花による緑化マニュアル」を作成 → 初心者でも取り組むことが可能となり、隅田川テラスなど**都内50カ所以上**の植栽に活用
- ❷ 日持ち性を向上させたダリア3品種を育成 → **従来品種の2倍**である**10日間の日持ちが可能**となり、お盆等での安定供給が可能
- ❸ 間欠冷房や根域温度制御による省エネ栽培技術、日持ち性を向上する低温品質管理技術等を開発 → **夏期における生産コストの2割削減**や**日持ち性1.5倍等**を達成し、安定供給が可能



従来品種の約2倍(10日)日持ちするダリア新品種



間欠冷房技術と細霧冷房によるコチョウランの低コスト高品質生産

低コスト高品質生産技術の組合せ

- ①ヒートポンプ（温度制御）
- ②高圧細霧冷房
- ③遮光カーテン
- ④植物生長調節剤

